

報道関係者各位

2019年9月26日

スギ456本分の植林・管理費用を岩手県住田町へ寄付 「ライトダウンキャンペーン2019」の節電相当量から算出

大東建託グループ(本社:東京都港区)は、9月10日、当社グループが実施した「ライトダウンキャンペーン2019」の取り組み結果として算出された、スギ456本分の植林・管理費用※1合計925,622円を、岩手県住田町に寄付金として贈呈しました。

本キャンペーンは、地球温暖化に対する意識向上のために2014年より毎年実施しており、「星空を見て木を増やそう」を合言葉に、全国の大東建託グループ関連施設で一斉消灯を行なうものです。今年の節電量は、11,452kWhとなりました。これはスギによる二酸化炭素吸収量に換算すると、スギ456本分に相当します。

※1 長期にわたる下刈りや間伐など、環境整備・保全のための費用



消灯施設

1,055 施設



節電量

11,452 kWh



植林支援本数

456 本

■岩手県住田町にて寄付金の授与式を実施

岩手県住田町で行なわれた寄付金の授与式では、神田町長へ寄付金の手渡されました。また、スギの苗木が植林される山林の一角には、植林を記念した「住田町・大東建託 協働の森」の看板が設置されました。

今後も当社グループは、持続可能な社会の実現を目指し、グループ全体で環境に配慮した事業活動を推進していきます。



9月10日に実施した住田町での授与式の様子

左:住田町長 神田 謙一氏

右:大東建託 取締役 内田 寛逸



「住田町・大東建託 協働の森」の看板を設置

2015年に実施した「ライトダウンキャンペーン2015」で植林した、約30cm～40cmの苗木が、4年間で現在※2約2m～3m前後に成長しました。

※2 2019年9月10日時点



2015年に植林した苗木と
右:住田町長 多田 欣一氏
(当時)

左:大東建託 取締役
齊藤 和彦



約3m前後に成長した苗木と
大東建託
技術開発部 松永 隼太

＜本件に関するお問い合わせ＞

大東建託株式会社 広報部 広報CSR課 TEL:03-6718-9174